

インバウンド PPC 取組み状況調査 台湾×リテール業界編

～日系企業のインバウンド取組み状況は？～

アジア 8 拠点で、SEM(検索エンジンマーケティング)サービス、インターネット広告、ソーシャルメディアなどのグローバルマーケティングを展開するアウンコンサルティング株式会社(東証マザーズ:2459、本社:東京都文京区、代表取締役:信太明、以下アウンコンサルティング)は、このたび、台湾における多言語 PPC の取組み状況について、台湾のリテール業界を中心としたキーワードでの広告出稿状況を調査致しました。

今回は「台湾」×「リテール業界」ですが、今後、アジア圏を中心としてその他の国や地域、業界においても順次調査して参ります。

台湾のリテール業界における PPC 出稿状況

2015 年の訪日外国人数は 1～12 月累計で 1,973 万人、通年で過去最高だった昨年の 1,341 万人を上回り、インバウンド市場はかつてない盛り上がりを見せています。今後、インバウンド市場の成長に伴って、日系企業におけるマーケティング予算への投資が進み、現地ローカルユーザーの集客を対象としたマーケティング活動、広告プロモーションが増加していくと考えています。

アウンコンサルティングでは、特定国におけるインバウンド市場向けの日系、ローカル企業、グローバル企業(対象国だけでなく複数国で広告出稿展開している状況を便宜上、グローバル企業としています。)の PPC の取組みを調査致しました。

今回の調査は対象国を「台湾」、業界を「リテール」としております。

■商品系キーワード検索結果調査

台湾における主要検索サイトの Google/Yahoo! で調査致しました。

※各検索キーワードで検索した際の検索結果は都度変動するため、再調査の場合には結果が変動する可能性があります。

両検索サイト共に日系企業の出稿は 40%前後の割合となっており、1 キーワードに 1～3 社程度の日系企業が表示されておりました。

Google/Yahoo! それぞれの出稿広告量に偏りがあり、Google の出稿量は Yahoo の約 5 分の 1 でした。最も出稿が多いのはローカル企業(EC モール)で、出稿企業の大半を占め、多くのキーワードで大手 EC モールの広告が目立っていました。

尚、本図表には記載していませんが、Google/Yahoo! 両検索サイトへ出稿している企業は少なく、どちらか一方の検索サイト(媒体)への出稿、特に Yahoo!のみに出稿している日系企業が多くございました。

また、出稿している日系企業は小売業界だけでなく、メーカー・不動産など他業界の企業の出稿も見られました。

google.com.tw								
No.	キーワード	日本語意味	月間検索数 (過去12ヵ月平均)	グローバル企業	ローカル企業	日系企業	合計出稿数	日系企業比率
1	日本薬妝	日本薬/化粧品	12,100	0	1	0	1	0.0%
2	日本美妝	日本化粧品	1,600	0	0	0	0	0.0%
3	日本化粧品	日本化粧品	590	0	1	2	3	66.7%
4	日本必買零食	日本で必ず買うお菓子	6,600	0	1	1	2	50.0%
5	日本零食	日本お菓子	2,400	0	3	0	3	0.0%
6	日本感冒薬	日本風邪薬	3,600	0	0	0	0	0.0%
7	日本胃薬	日本胃薬	1,900	0	0	2	2	100.0%
8	日本腸胃薬	日本胃腸薬	1,000	0	0	0	0	0.0%
9	日本薬品	日本薬	1,300	0	1	0	1	0.0%
10	日本薬	日本薬	880	0	0	0	0	0.0%
11	日本保養品	日本健康商品	880	0	1	1	2	50.0%
12	日本保健食品	日本健康食品	320	0	2	2	4	50.0%
13	日本家電	日本家電	880	0	0	1	1	100.0%
14	日本電器	日本電器	4,400	0	0	0	0	0.0%
15	日本服飾	日本ファッション	720	0	1	2	3	66.7%
16	日本潮牌	日本ファッションブランド	720	0	0	0	0	0.0%
17	日本嬰兒用品	日本ベビー用品	880	0	0	0	0	0.0%
18	日本玩具	日本玩具	880	0	3	0	3	0.0%
19	日本必買商品	日本で必ず買う商品	3,600	0	0	2	2	100.0%
20	日本雑貨	日本雑貨	880	0	2	1	3	33.3%
21	日本商品	日本商品	590	0	3	1	4	25.0%
合計/平均				0	19	15	34	44.1%

※月間検索数: Google キーワードプランナーを一部参照し、アウンコンサルティングにて数字を精査。

tw.yahoo.com								
No.	キーワード	日本語意味	月間検索数 (過去12ヵ月平均)	グローバル企業	ローカル企業	日系企業	合計出稿数	日系企業比率
1	日本薬妝	日本薬/化粧品	-	0	3	3	6	50.0%
2	日本美妝	日本化粧品	-	0	1	3	4	75.0%
3	日本化粧品	日本化粧品	-	2	2	7	11	63.6%
4	日本必買零食	日本で必ず買うお菓子	-	0	2	5	7	71.4%
5	日本零食	日本お菓子	-	1	5	2	8	25.0%
6	日本感冒薬	日本風邪薬	-	1	1	2	4	50.0%
7	日本胃薬	日本胃薬	-	0	1	1	1	100.0%
8	日本腸胃薬	日本胃腸薬	-	0	0	0	0	0.0%
9	日本薬品	日本薬	-	0	3	3	6	50.0%
10	日本薬	日本薬	-	0	6	6	12	50.0%
11	日本保養品	日本健康商品	-	1	5	6	12	50.0%
12	日本保健食品	日本健康食品	-	0	10	2	12	16.7%
13	日本家電	日本家電	-	1	3	3	7	42.9%
14	日本電器	日本電器	-	0	3	1	4	25.0%
15	日本服飾	日本ファッション	-	2	10	0	12	0.0%
16	日本潮牌	日本ファッションブランド	-	0	2	0	2	0.0%
17	日本嬰兒用品	日本ベビー用品	-	4	6	1	11	9.1%
18	日本玩具	日本玩具	-	1	5	0	6	0.0%
19	日本必買商品	日本で必ず買う商品	-	1	5	6	12	50.0%
20	日本雑貨	日本雑貨	-	0	2	0	2	0.0%
21	日本商品	日本商品	-	1	6	5	12	41.7%
合計/平均				15	81	56	151	37.1%

■販売店名キーワード検索結果

台湾における主要検索サイトの Google/Yahoo! で調査致しました。

※各検索キーワードで検索した際の検索結果は都度変動するため、再調査の場合には結果が変動する可能性があります。

Google での広告出稿は確認できず、Yahoo! のみを見ると日系企業の出稿割合は 30%程度でした。

最も出稿が多いのは、商品系キーワードと同様でローカル企業(EC モール)でした。

尚、出稿されている日系企業の詳細としては、販売店自らがキーワードを出稿していることはほとんど

なく、店名企業と同業界の競合他社などの出稿が見て取れました。

google.com.tw								
No.	キーワード	日本語意味	Google月間検索数 (過去12ヵ月平均)	グローバル企業	ローカル企業	日系企業	合計出稿数	日系企業比率
1	伊勢丹	伊勢丹	880	0	0	0	0	0.0%
1	ISETAN	伊勢丹	260	0	0	0	0	0.0%
3	三越百貨	三越百貨店	140	0	0	0	0	0.0%
4	Mitsukoshi	三越百貨店	480	0	0	0	0	0.0%
5	松本清	マツモトキヨシ	4,400	0	0	0	0	0.0%
6	Matsumoto Kiyoshi	マツモトキヨシ	390	0	0	0	0	0.0%
7	唐吉可徳百貨店	ドン・キホーテ	0	0	0	0	0	0.0%
8	Don Quijote	ドン・キホーテ	260	0	0	0	0	0.0%
9	山田電機	ヤマダ電機	320	0	0	0	0	0.0%
10	Yamada Denki	ヤマダ電機	210	0	0	0	0	0.0%
11	友都八喜	ヨドバシカメラ	390	0	0	0	0	0.0%
12	Yodobashi Camera	ヨドバシカメラ	880	0	0	0	0	0.0%
13	bic camera	ビックカメラ	60,500	0	0	0	0	0.0%
14	阪急百貨	阪急百貨店	14,800	0	0	0	0	0.0%
15	阪神百貨	阪神百貨店	170	0	0	0	0	0.0%
16	西武百貨	西武百貨店	320	0	0	0	0	0.0%
17	永旺	イオン	1,900	0	0	0	0	0.0%
18	AEON	イオン	12,100	0	0	0	0	0.0%
合計/平均				0	0	0	0	0.0%

※月間検索数: 百度(バイドゥ)提供のツールを一部参照し、アウンコンサルティングにて数字を精査。

tw.yahoo.com								
No.	キーワード	日本語意味	月間検索数 (過去12ヵ月平均)	グローバル企業	ローカル企業	日系企業	合計出稿数	日系企業比率
1	伊勢丹	伊勢丹	-	0	1	0	1	0.0%
2	ISETAN	伊勢丹	-	0	0	0	0	0.0%
3	三越百貨	三越百貨店	-	0	0	0	0	0.0%
4	Mitsukoshi	三越百貨店	-	0	0	0	0	0.0%
5	松本清	マツモトキヨシ	-	2	0	1	3	33.3%
6	Matsumoto Kiyoshi	マツモトキヨシ	-	0	0	1	1	100.0%
7	唐吉可徳百貨店	ドン・キホーテ	-	0	0	0	0	0.0%
8	Don Quijote	ドン・キホーテ	-	1	1	0	2	0.0%
9	山田電機	ヤマダ電機	-	0	1	0	1	0.0%
10	Yamada Denki	ヤマダ電機	-	0	0	0	0	0.0%
11	友都八喜	ヨドバシカメラ	-	0	0	0	0	0.0%
12	Yodobashi Camera	ヨドバシカメラ	-	0	0	0	0	0.0%
13	bic camera	ビックカメラ	-	0	0	0	0	0.0%
14	阪急百貨	阪急百貨店	-	0	0	0	0	0.0%
15	阪神百貨	阪神百貨店	-	0	0	1	1	100.0%
16	西武百貨	西武百貨店	-	0	0	0	0	0.0%
17	永旺	イオン	-	0	0	0	0	0.0%
18	AEON	イオン	-	0	2	1	3	33.3%
合計/平均				3	5	4	12	33.3%

調査概要

【調査主旨】

台湾のリテール業界における PPC 出稿状況

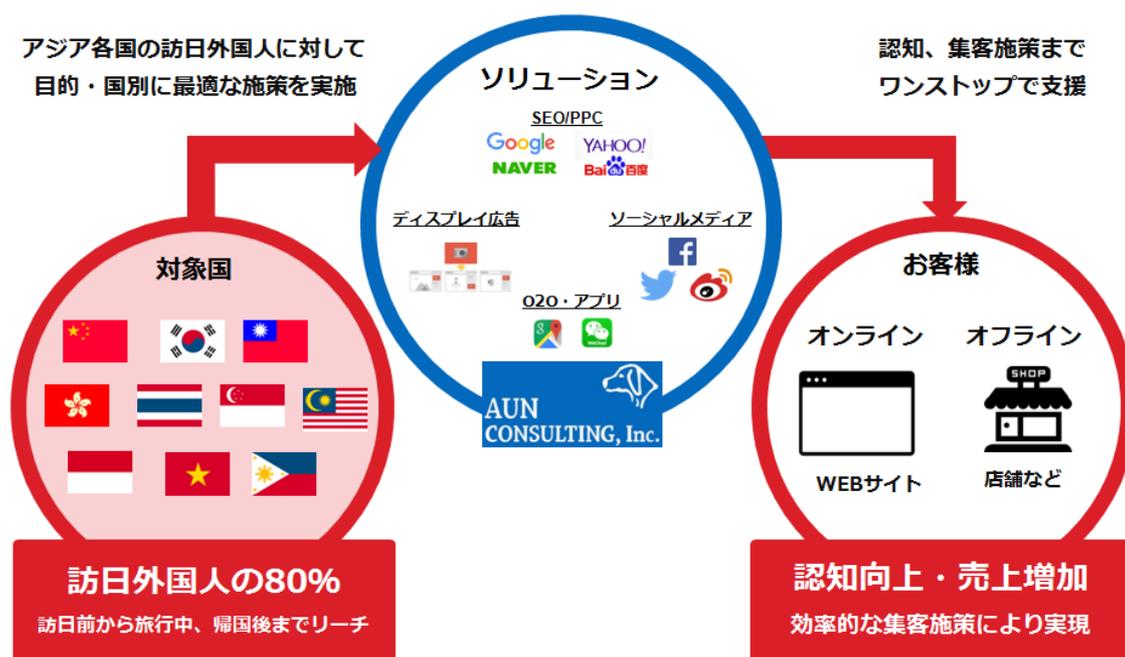
【調査要綱】

- ・ 調査機関:アウンコンサルティング調べ
- ・ 対象の国または地域:台湾
- ・ 調査日:2016年2月9日、2月10日
- ・ 調査対象検索サイト:Google.com.tw(<https://www.google.com.tw/>)
Yahoo!台湾(<https://tw.yahoo.com/>)
- ・ 調査方法:上記の検索サイトにおいて各キーワードで検索し、検索結果上の広告出稿を調査&分類
- ・ プレスリリース本文中に出てくる各社サービス名称は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本プレスリリースをご掲載される場合、『アウンコンサルティング調べ』とご記載の上、弊社までご連絡をお願いいたします。

■アウンコンサルティングのインバウンドマーケティングサービスのご紹介

インバウンドマーケティングは国によって、訪日回数や観光先など好まれるポイントや消費金額が異なるため、各国ごとに適したマーケティングを行うことが必要です。

アウンコンサルティングは弊社現地拠点リソースや蓄積ノウハウを活用し、対象国にあわせて最適な施策を組み合わせ、認知・販促効果の最大化を支援致します。





アウンコンサルティング株式会社

[事業内容]

東京、沖縄、台湾、香港、フィリピン、タイ、シンガポール、韓国のアジア8拠点で、SEO、PPC(リスティング広告)、ソーシャルメディア、リサーチなどのグローバルマーケティング事業を展開

[設立] 1998年6月8日

[本社] 東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽2F

[代表者] 代表取締役 信太明

[資本金] 341,136千円(2015年5月末現在)

[URL] <http://www.auncon.co.jp>

[沿革]

1998年6月	千葉県松戸市で設立
1998年9月	福島県福島市へ本社移転
1999年10月	SEOコンサルティングを開始
2001年1月	東京営業所を東京都文京区に開設
2002年11月	PPC(リスティング)広告を販売開始
2002年4月	東京都文京区に本社移転
2005年11月	東京証券取引所マザーズ市場上場
2006年12月	沖縄支店を沖縄県那覇市に開設
2008年4月	タイ・バンコクに現地法人設立
2010年6月	台湾・台北に現地法人設立
2010年9月	香港、韓国・ソウルに現地法人設立
2010年11月	シンガポールに現地法人設立
2015年6月	フィリピンに現地法人設立

[プレスリリースに関するお問合せ]

広報担当 七原 TEL:03-5803-2739 /MAIL:pr@ auncon.co.jp(ただし、@は半角)